

令和4年第1回琴浦町教育委員会会議録	
日 時	令和4年1月25日(火) 13:30~15:00
場 所	まなびタウンとうはく3階 第1会議室
出席委員	森田澄恵委員兼CSディレクター、高力和美委員、新田朗尚委員、黒松悟司委員、田中清治教育長
その他出席者	桑本教育総務課長兼学校給食センター長 宮本社会教育課長 小惊人権・同和教育課長、 岸本指導主事
傍聴人	なし
議事録署名委員	高力委員、黒松委員
日 程	<p>1 開 会</p> <p>2 議事録署名委員の指名</p> <p>3 教育長報告</p> <p>4 各課報告</p> <p>5 協議事項 琴浦町学校運営協議会委員について</p> <p>6 その他 独自事業について 熊本県高森町への視察報告</p> <p>7 閉 会</p>

<p>教育長</p>	<p>令和4年 第1回定例会の会議概要記録</p> <p>日程第1 開会 令和4年第1回定例会を開会します。</p>
<p>教育長</p>	<p>日程第2 議事録署名委員の指名 議事録署名委員を高力委員と黒松委員にお願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>日程第3 教育長報告</p> <p>12月から1月にかけて成人式が予定通り行われました。人権尊重のまちづくり条例に伴って基本方針を策定するというので、審議会や意見交換会を開いております。1月27日には意見交換会並びに審議会が出た意見とパブリックコメントを基にして、最終的な基本方針策定委員会をする予定にしております。高校入試が3月8日と9日に行われて、3月9日に臨時の教育委員会の開催を予定しています。これは教職員の異動に関するものです。それから町内小中学校の卒業式それから修了式を載せておりますが、卒業式は中学校が3月11日で、私と森田職務代理で告示をします。それから3月18日の小学校では教育委員さん4名と私の5名で、5校を回って告示をしていただくこととなりますので予定をしておいてください。今年度の修了式は、3月24日に全小中学校で行われる予定です。</p> <p>何かご質問はありますか。 ないようですので各課報告にうつります。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>1点目は新型コロナウイルス感染症対策ということで、国の補正予算で12月に成立しているものです。昨年度から何度か補正予算が組まれていますが、学校の規模に応じて感染症対策に係る経費を国が補助する制度です。今回3回目になると思いますが、琴浦町内の学校の規模では1校当たり90万円が対象になる制度のようです。事業費の2分の1を国が補助、2分の1は町が負担するシステムになっています。まだ詳しい情報は国の方からおりてきていませんが、満額利用したいということで申請、要望は出している状況です。2点目は学校給食週間の取り組みです。今、学校給食週間の最中で1月24日から30日の間に全国的に行われていますが、琴浦町では献立を各小中学校で作って、それを今週、提供しています。児童生徒が作成した給食の作品展示をまなびタウンで行っておりますので、ご紹介させていただきます。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>社会教育からからは2点です。まず1点目イベントですが、ミュージックエンカウンター、私の町の小さな演奏会ということで、2月19日土曜日の2時半からまなびタウンの多目的ホールで行います。この事業は鳥取県文化振興財団のアウトリーチと言いまして、大きなホールで演奏会をすることも必要です</p>

	<p>が、地方の芸術文化の鑑賞機会を増やして裾野を広げるといった取り組みを町と一緒にやっていこうと企画した事業です。来年度も文化振興財団と連携して、こういった演奏会をしていきたいと考えております。2点目ですが、これは民間配信型教養講座を図書館で視聴できる取り組みを試行しております。目的は生涯学習の取り組みは誰でもいつでも学べるということで、ただやはり自分が学びたいことというのを、行政の方で全て対応するというのはなかなか難しいことですので、こういった民間サービスを活用してみようかということです。都市と地方との格差ありませんし、今起こっている政治や経済の分野であるとか学びたい興味あること自分で選んで学べるということで、これを試してやってみようということです。内容についてはチェーン三つTBという民間の共用配信講座を活用します。東京大学を初めとして様々な分野の内容が10分間単位で入れるというものでして、図書館本館でiPadを貸し出して、対面朗読室という部屋で見ていただく形にします。お試として3月31日までということで取り組んでおりますし、興味のある方はぜひお試しいただければと思います。</p>
人権・同和教育課長	<p>去る1月12日に琴浦町の人権同和教育に関する意識調査の報告講演会を行いました。参加者38名で、講師の一盛先生の話聞いていただきました。内容としましては、今回、意識調査を行った中の自由記載欄の内容についていうのを分析していただいたということでございます。主な内容としましては、部落問題というものが争点になっているんですけども、部落問題について二極化が進んでいるのではないかとことや、あとは地域の実情に合った人権教育や、年齢に応じた人権教育とかそういったものが必要ではないかという内容の講演でした。録画されたものがありますので、視聴を希望される方は当課にご連絡ください。</p>
教育長	<p>三課の報告についてご質問ありますでしょうか。</p>
教育委員	<p>人権・同和教育課の1月12日の講演会に参加しましたが、町職員が多かったように思います。町民の方で興味を持って来られた割合はわかりますか。</p>
人権・同和教育課長	<p>割合は把握していません。</p>
教育委員	<p>いい講演だったので、多くの町民に聞いてもらえればよかったと思いました。</p>
人権・同和教育課長	<p>今後同様の事業があれば、周知に力入れたいと思います。</p>
教育委員	<p>先ほどの講演会の内容をお知らせいただけるとありがたいです。</p>

<p>教育委員</p>	<p>コロナウイルス感染症対策事業ですが、事業の内容を教えてください。また、全国の学校やこども園で感染が広がっていて、布マスクでは駄目だと言われてます。不織布マスクは使い捨てでお金がかかります。支援事業として各園や学校へ予備のマスクを配布することは考えていますか。</p> <p>もう1点、社会教育課の民間教養講座のお試しがあるのはとてもいいと思います。i P a dの貸出しについては、こういった対応を予定していますか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>コロナ対策補助金は、今、見込みで消耗品あるいは備品を予算化しています。マスクについても国のアベノマスクの配布があるということですが、不織布ではなかったの、消毒液やパーテーション等とあわせて、不織布マスクなど感染予防の消耗品に使っていただけたと思っています。詳しいことがわかったら学校と相談をしようと思っていますが、基本的に必要なものを買えると思っています。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>i P a dはネットに接続して、その講座が見られるような状態でお渡しする予定です。1講座10分ですが、10分の講座が四つで一つの講座のものありますので、予約がなければずっと見ていただいてもいいですし、いろんなのを試しで見てもらってその中で興味のある講座を掘り下げてもらうということもできます。これは寿大学の内容を担当者がいろいろ新しい教材を調べる中で、この会社のサービスを見つけました。公共的に利用する取り組みは初めてということで今、お試し期間です。来年度はお金を払って利用する予定ですが、まだ利用の実績を集めている状況です。他の方の読書に影響がないように図書館の対面朗読室という声を出して読める小部屋を利用する予定です。</p>
<p>教育委員</p>	<p>i P a dは何台貸し出す予定ですか。また、利用料はかかりますか。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>i P a dは今1台準備しており、予約をして使ってもらう予定です。予約優先ですが、今は希望されればすぐに見られる状態です。今後も利用者の料金を取らないように考えています。来年度はi P a d 2台追加とサービス利用料を予算要求をしているところです。</p> <p>次に協議事項です。琴浦町学校運営協議会についてです。</p> <p>2校が先に取り組んでいただいて、あと5校が来年、再来年度スタートという形になりますので、また来年の今頃の時期に協議会の委員をこの教育委員会に提案していただくということになります。各学校で校長先生を中心にして話し合って委員さんを出していただいています。もし教育委員さんの中で意見がありましたらそれをいただいて、来月承認と考えています。もう1点、パン</p>

教育長

フレットについて、先月のこの教育委員会でいろんなご意見いただきましたので、訂正しながら作ってみました。これを各学校や地域の方など主な関連する皆さんにお知らせするチラシとして配りたいと思っています。

次に来年度の学校独自事業について説明します。学校独自事業といって、学校が各学校の抱えている課題を解決するために独自に実施する事業のことです。教育委員会がこれをやってくださいということではなく、それぞれの学校が独自に組むということで独自事業という名前をつけております。簡単にどんなことを来年度取り組もうとしているのかを説明させていただきます。この小学校は自分の思いを表現するということに取り組んできました。今度は考えるだけではなくて、考えたことを形にあらわせる、表現力を磨いていこうということで、自分の思い、考え、これを伝える子供たちにしていこうということで、美作大学の田中稔先生に指導を受けるということです。この先生は鳥取県出身で東部で小学校の教員もされた経験があって、鳥取県の美術関係のコンクールの審査をずっとやっておられる方ということで、この先生をお迎えすることになります。次の小学校は国語教育ということで、ずっと越水先生に指導を受けていました。この先生に来年度も表現力を育てるということで、デジタル教科書の効果的な活用であるとか、図書館を活用した事業支援を受けながら、全学年で研究事業をやったり、読み取る力の育成に力を入れて、主体的に行動できる子供を育てる取組をしていくということです。自分の思いを表現できる、行動できる、そういう子供たちを育てたいということで取り組まれます。次の小学校は対人関係の力を育てるために元小学校教員の菊地先生に来ていただいて、学級集団づくりを教わります。また、島根大学の岩谷先生には話し合い活動の指導、それから大変活動の指導を受けながら、良好な人間関係のつくれる子どもたちを育てていこうということです。特に野口先生は褒めるということで、自尊感情を持ったり、相手のよさを認める、相手のことを思いやる人間関係を作る指導もされるということです。次の小学校は子どもたちへの指導力向上を重点的に取り組んでいきます。まず、学級づくりとして中部教育局の指導主事を中心に学級とか授業づくりを学びます。もう一つ、教科の中で教員が教えることによって、子供たちがわかるようになったということが実感できる教科は算数ですので、算数を中心取り組んで、子どもたちにわかる喜びというものを教えて、学習する習慣をつけようということで、環太平洋大学の前田先生、それから中部教育局の指導主事をお願いして取り組むということです。次の小学校は、地域との関わりも非常に強い戦略会議がありますので、この地域のよさを子どもたちに教えて、子どもたちがふるさとを大切に、ふるさとを誇れる子どもたちを育てようというふるさと教育を指導していただける島根大学の加藤先生をお願いをして、総合的な学習などの中でいかしていくということです。それから日本海新聞の記者をお願いして新聞を通しての表現活動もずっと続けてきておりますので、この活動を通してふるさとのことを学習してそれ

	<p>を表現していくということです。そしてもう一つ、子どもたちのやる気を出させる事業ということで、やはり算数ができたのがよくわかるということで、前田先生に指導を受けて、褒めて育てる算数教育に取り組むということです。次に中学校は、生徒の心の不安定感を取り除き自尊感情を持てる指導をします。ボイスシャワーと言いますが子どもたちを褒めて、自分自身がかけがえない人間だということを自覚する指導をしようということで福田先生に指導を受けております。その成果があって、子どもたちも自分の存在というものを認め、自尊感情も出てきました。学校にも来ていただいて子どもたちの様子を見ていただいて、今後どういう取組が必要かを指導していただきます。もう一つの中学校は、子どもたちが自分たちの問題を自分たちが考える生徒会活動が非常に盛んです。この前は校則を自分たちで考えて、変えていくという取り組みもしていました。生徒会活動が非常に活発なので、それをさらに充実させていこうということで、考えたことを全校に発表するために体育館を使って考えたことをプレゼンしていました。去年はW i - F i を体育館に整備して、体育館でいろんな発表できるようにしましたが、スクリーンが小さくて後ろにいる生徒がよく見えないので、きちんと子どもたちが見て自覚できる環境を作するために大型スクリーンを整備するという取り組みをします。各校の独自事業について質問ありますでしょうか。</p>
教育委員	<p>この事業の一枚当たりの予算はどれくらいですか。また、中学校で自尊感情や規範意識の低さが課題となっていますが、中学生になって規範意識が下がるわけではないと思うので、小学校との連携がどうなっているか教えてもらえますか。</p>
教育長	<p>まず予算ですけれども、何が必要なのかということによって予算は変わります。予算の上限は決めていませんが、大体1校20万円ぐらいです。それから中学校と小学校との連携については、今はまず、その学校で問題になっていることをきちんと課題解決していこうと考えています。連携についてはこの事業ではなくて他のところで様々な取組を行っています。教員が子供たちの様子を見ていますし、問題のある子どもについてはケース会議などで、小中が一緒になって情報共有や今後の対策について話しあっています。</p>
教育委員	<p>計画訪問で回ったときに、学力が他の学校に比べて低かった学校がありましたが、その後、何か改善がありましたか。規範意識のことなど学校として課題をとらえて今どのように進んでいるのか教えてください。</p>
教育長	<p>去年と今年の学校訪問で学校の様子が変わったのはおわかりだったでしょうか。去年は教室を出てしまったり、校外に出てしまうような子どももいたという状況でしたけれども、今年度はそういう子供たちがいなくなり、ある程度</p>

	<p>落ち着いて、教室で授業を受けられるようになりました。そうやって落ち着いてくると、今度は学力がついてくる。まず、子どもたちが落ち着いて授業に取り組む、そして今度は授業の中で、学習というものに取り組めるという状況を作って、学力を上げていくということになると思います。ちょっと時間はかかるかもしれませんが、子どもたちが落ち着いてきているという状況は、今後いい方向に向かうのではないかなと思っております。それとあわせて教員の授業力アップにも取り組んでいます。</p>
教育委員	<p>独自事業ではありませんが、学校施設の整備についてはどうなっていますか。</p>
教育総務課長	<p>学校施設も古くなってきています。定期点検を行って危険なものは早いうちに対応しようということで、前倒しで今年度も予備費を使いながら整備している部分もあります。大規模改修が必要なものについては財源のことがありますので、国の予算や事業などを見ながら、計画を立てているところです。年次的に計画していかないと財政が追いつかないということもありますので、いろんな改修について、年次計画を立てている状況です。</p>
教育長	<p>では次に視察の報告に移ります。</p>
指導主事	<p>12月20日に熊本県高森町に視察に行きました。高森町は小学校一つ、中学校が一つ、そして義務教育学校が1つ、全部合わせて500人ほどの児童生徒がいる町です。人口は6000人位です。この高森町はICTに大変早くから取り組んでおられて平成24年度からいろんな取り組みをされてます。今年度5月の半ばごろ、オンライン授業が各地で始まっていますが、先進的な取り組みをもうやっておられるということで、全国でも代表的な取り組みをされている高森中央小学校に行ってきました。</p> <p>高森町の教育ビジョンというものがすごく徹底されていて、その具体的な力を伸ばすためにどういったことを、ICTを通してやっていけないのかということを考えておられました。それを組織として、きちんとした形でされているというところが、私たちにとってはすごく参考になりました。機械の使い方から始まって、今は授業デザインにも、授業の中にどうICTを組み込んでいくかと、しっかりと考えを持って取り組まれています。そういった中で、もう一度教育委員会が課題を把握して、どうやってそれを解決していくかを考えていかなければいけないと実感させられました。</p> <p>全国に先駆けるようにして始まった高森中央小学校のICT教育は、電子黒板やタブレットを配布し、平成30年には生徒全員がタブレットを持つようになりました。ICT教育の主な取り組みとしては、外部専門機関との交流授業、遠隔授業などがあります。高森中央小学校では新型コロナウイルスの影響で休</p>

	<p>校になった時がありましたが、I Tでの学習が進んでいたため、リモートでの授業をすぐに実行することができ、学習に遅れが出ることなく、しっかり学ぶことができました。</p> <p>琴浦町でも小中学校の先生方には本当に頑張ってもらっているところですが、これを学力向上につなげていくなか生きる力につなげていくということ、さらに先を考えていかないといけないと思っています。</p> <p>高森町の特徴的な取組を実現させるために、すごく参考になったのはC I O補佐官という方が教育委員会におられたことです。これは教育長を助けながらI C T教育についてビジョンをしっかりと捉えて、具体的な取り組みどうしていくかということを考えて、そのことを各学校に伝えて、各学校で実施をしていただくという組織がありました。組織についてはそれぞれの町の取り組みにはなるかとは思いますが、将来的には琴浦町でも取り組んでいかないといけないのかなと思います。</p> <p>その他に、端末の持ち帰りについてはどうかというような話もありました。高森町は100%ご家庭にW i - F i の環境があるそうです。W i - F i ルーターの貸与や、町のケーブルテレビを上手に活用して100%実現されていると聞きました。あとはしっかりした組織があるのもすごいなと思いますし、具体的に子どもたちにも情報活用能力をつけさせたいということで、そういった取り組みをされています。C I O補佐官が学校とI C Tに長けた人をつなぐ役割をされていたのが参考になりました。子どもたち、先生たちにとっても、そういった地域の長けた人と繋がることでさらに深いI C T活用が生まれてくるということもおっしゃっていました。</p>
教育長	<p>高森町は、ただ機器が使えればいいというのではなく、どう使って、将来的にどうするのかというきちっとした考えを持って、取り組んでいるのがよくわかりました。その方針をいかに学校に伝えていって学校で実践してもらえるか、その仕組みを考えていかないといけないと思いました。</p>
教育委員	<p>C I O補佐官についてももう少し説明してもらえますか。</p>
教育長	<p>まず教育長をC I Oとして、それを補佐するC I O補佐官がいて、各学校には学校C I O補佐官がいます。C I O補佐官は各学校に指導する、それを受けて各学校の情報教育を進めるのが学校C I O補佐官で、今の情報担当の教諭をもう少し特化するという形です。C I O補佐官も指導主事ではなく、ある程度長けた人、構想もきちんと持てる方を充てていくことを考えています。I C T教育を先進的に進めておられる方を琴浦町で雇いたいと思っています。</p>
教育委員	<p>高森町のネット環境の状況について聞かせてください。</p>

指導主事	<p>高森町もケーブルテレビ回線を使っているそうです。おそらく最初の頃は、一斉に使うとフリーズするとか、ネットが繋がりにくいこともあったかもしれませんが、現在はそのようなことはないとお聞きしました。</p> <p>琴浦町では、現在は指導者用だけだったり、子どもが一斉に常に使い続けるという状態ではないので、つながりにくいということはありませんが、これから学習者用のデジタル教科書が入ってきて、子供たちが一斉にアクセスするような状況になってくると、今の通信環境だと止まってしまうこともあるかもしれません。新たなネット環境の整備が必要になってくると思います。</p>
教育長	次に生徒の状況について、児童生徒の状況をお願いします。
指導主事	資料により報告
教育長	全体をとおして何か質問ありますでしょうか。
教育委員	なし
教育長	<p>日程第7 閉会</p> <p>本日の委員会は、以上で閉会とします。</p> <p>次回は2月24日に開催します。</p> <p>令和4年第1回琴浦町教育委員会の内容を記録し、相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>署 名</p> <p>署 名</p>